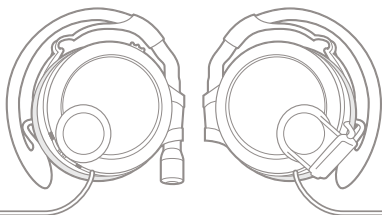
Logitec

LBT-HP100C2 シリーズ V02

Bluetooth ワイヤレスオーディオヘッドフォン
ユーザーズマニュアル

デバイス名	LBT-HP100C2
パスキー	0000

ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
本書では、本製品の使用方法や仕様についてご説明いたします。ご使用の前に必ずお読みいただき、読み終わった後もいつでも参照できるよう大切に保管しておいてください。

ご注意

1. 本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。
2. 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。
3. 本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、2項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
4. 本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
5. 本製品の仕様、デザインおよび本書の内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

6 本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

7 弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

8 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

9 本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

商標に関する注意

Windows Media Player は米国 Microsoft Corporation の商標です。

Bluetooth® は Bluetooth SIG の商標です。

その他本書に記載されている機器の名称などは各社の商標または登録商標です。

目次

安全上の注意

警告

万一、異常が発生したときは ...

本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切ってください。また、充電中の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

弊社指定の物以外を使用してヘッドフォンの充電を行わないでください。

ヘッドフォンは内部電源にリチウムイオン電池を使用しています。この電池は扱いを誤ると、発火の危険性があります。
充電は本書で指定する方法で行ってください。注意事項をお守りにならない場合、バッテリーの寿命が著しく短くなる場合があります。

高温のまま放置しないでください。

本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用、保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

ヘッドフォンの充電が終わったら、必ず充電用ケーブルを取り外してください。

また、必要な充電時間を終えても充電が完了しない場合も、いったん充電を終えて AC アダプタを取り外してください。
所定の充電時間を超えて充電を行った場合、内部電池が発熱、発火、破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

音量の設定には十分気をつけてください。

ヘッドフォンの音量は最小から徐々に音を上げ、適切な音量に調整してください。

分解しないでください。

本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造、分解をしないでください。感電、火災、やけどの原因となります。
※特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触れると危険です。

水気の多い場所での使用、保管は行わないでください。

本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。また、充電時に濡れた手で AC アダプタを触ると、感電の原因となりますのでおやめください。

小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。

誤飲など、思わぬ事故を招く場合があります。

病院内や航空機の中などでは使用しないでください。

高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機器や航空機の計器類などの誤動作の原因となります。また、まれに自動ドアや火災報知器などの自動制御装置に電波が干渉し、誤動作を招く場合があります。

充電用ケーブルの接続端子や本製品の電源コネクタ等の金属部分に触れないでください。

静電気や汚れなどにより、故障、感電の原因となります。

自動車運転時には使用しないでください。

自動車の運転中にヘッドフォンを使用しないでください。
また、歩行中等でも、駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況をよくご確認ください。

注意

大きな音で長時間音を聞き続けないようにしてください。

ヘッドフォンから長時間にわたり大きな音を聞き続けると、聴覚に悪影響を起こす可能性があります。適切に音量を調整し、長い時間聞きすぎないようにご注意ください。
また、このヘッドフォンは、周囲の音を完全に遮断するタイプではありませんので、大音量で音楽を再生すると音が漏れ、周囲の人の迷惑となる場合もあります。十分ご注意ください。

充電には付属の USB 充電ケーブルを使用してください。

付属の USB 充電ケーブル以外での充電は絶対におやめください。
火災、故障の原因となります。
また、USB 充電ケーブルはパソコンなどの USB ポートへ直接接続してください。ハブ経由での充電は、バスパワー不足により十分な電力を得られないことがあります。

衝撃や振動のある場所では使用しないでください。

本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用、保管は避けてください。

周囲の機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください。

本製品は 2.4GHz 帯の ISM バンドをワイヤレス転送に使用しています。この周波数帯では無線免許を必要としない機器が一定の条件下でさまざまな形で使用されています。
そのため、使用する場所より、まれに周囲の機器との間で電波干渉が起こる場合があります。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。

装着時に違和感がある場合は使用を中止してください。

かゆみやヒリヒリ感が出るなど、お肌に合わないと感じられた場合は使用を中止し、必要に応じて医師などにご相談ください。

心臓ペースメーカーなどをお使いの場合は使用しないでください。

本製品を心臓ペースメーカーと併用できるかどうかについては、ペースメーカーの製造元やかかりつけの医師に相談の上、安全が確認された場合のみ使用してください。

充電中はヘッドフォンの周りに物を置かないでください。

発熱、発火、火災、やけどの原因となります。

ご使用にならないときは電源を OFF にしてください。

本製品は待ち受け中も電力を消費します。長期間電源が ON のまま放置しておくと、実際の通話時に電池切れを起こす場合があります。

ご使用の際は接続機器の取扱説明書の指示に従ってください。

本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

定期的に充電を行ってください。

ヘッドフォンは長期間使用しない場合でも、1 か月に 1 度を目安に充電を行ってください。

ラジオやテレビの近くで使用しないでください。

ラジオやテレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

日本国以外では使用しないでください。

この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証できません。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。

本製品を廃棄する場合

ヘッドフォンは内部電池にリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。
本製品を廃棄する場合は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
お問合せ先については、本書巻末をご参照ください。

電波に関する注意事項

本製品は 2.4GHz 帯の無線電波を使用しています。

本製品が通信時に使用する 2.4GHz 帯の電波は以下の機器や無線局が使用しています。

・産業、科学、医療用機器

・電子レンジなどの加熱装置

・工場の製造ライン等で使用される

移動体識別用の構内無線局（免許を要するもの）

特定省電力無線局（免許を要しないもの）

そのため、以下の注意事項をお守りの上ご使用ください。

- 心臓ペースメーカを使用している人の近くや、医療用の機器の近くでは絶対に使用しないでください。電波干渉を及ぼし生命に危険を与える可能性があります。
- 電子レンジなどの加熱機器のそばでは使用しないでください。電波干渉が発生します。
- 本製品をご使用の前に本製品の周辺で移動体識別用の構内無線局または特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。本製品とそれらの無線局に電波干渉が生じた場合は、弊社テクニカルサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 電波干渉が起こると、通信ができなくなったり、正常に相手の声が聞こえない、自分の声が伝わらないなどの現象が起こる場合があります。そのような場合は直ちに本製品の使用をおやめください。

その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合等、問題が発生した場合は弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。（弊社テクニカルサポートの連絡先については、本書巻末をご参照ください）

使用周波数帯域	：2.4GHz
変調方式	：周波数拡散方式　FHSS（Frequency Hopping Spread Spectrum）
想定干渉距離	：約 10m（障害物のない場合）
周波数変更の可否	：全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定省電力無線局」帯域を回避可能

1 はじめに

本製品は、Bluetooth ワイヤレス技術を使用したハンズフリー通話対応のワイヤレスオーディオヘッドフォンです。
Bluetooth のオーディオプロファイル（A2DP）に対応した Bluetooth オーディオトランスミッターを装着した携帯型音楽プレーヤー等と組み合わせて、音楽をワイヤレスにお楽しみいただけます。
ヘッドフォンは AVRCP（Audio Video Remote Control）プロファイルに対応していますので、携帯型音楽プレーヤーなどの送信側ユニットが同プロファイルに対応していれば、音楽ファイルの再生やスキップなどの操作をヘッドフォン側で行うことが可能です。
また、ご使用の携帯電話が Bluetooth のハンズフリー通話に対応していれば、本製品を使用して携帯電話の待ち受け、ハンズフリーでの通話が可能です。
その他、ご使用のパソコンが Bluetooth 機能を搭載していれば、本製品を使用してパソコンでのボイスチャットや音楽をお楽しみいただけます。

ご注意

- 携帯電話でのハンズフリー通話には、携帯電話側が HSP（Head Set Profile）または、HFP（Hands-free Profile）をサポートしている必要があります。
- 携帯電話の機種によっては、通話後に Bluetooth 接続を自動的に解放しないものがあります。このタイプの携帯電話と Bluetooth トランスミッターを取り付けた携帯型プレーヤーを併用してご使用の場合、音楽再生への切り替えに失敗する場合があります。このような場合は、いったんすべて携帯電話とヘッドフォンの電源を OFF にした後に、ヘッドフォンの電源を入れなおしてみてください。
- パソコンで使用する場合は、パソコン側が Bluetooth の A2DP、AVCRP、HSP の各プロファイルをサポートしている必要があります。

1-1 同梱品の確認

本製品には、以下のものが含まれています。

- ヘッドフォンユニット本体
- USB 充電ケーブル
- ユーザーズマニュアル（保証書含む）（本書）

※ 本製品の充電は、付属のUSB 充電ケーブルを使用してパソコンのUSB ポートから行います。

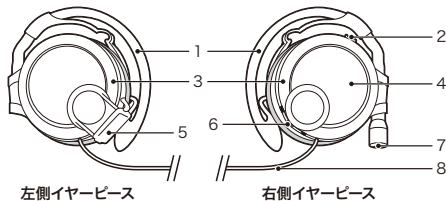
1-2 使用環境について

本製品は、Bluetooth の A2DP、AVRCP、HSP、HFP プロファイルに対応した携帯電話、オーディオトランスミッター機能付き携帯型音楽プレーヤー、パソコン、PDA などと組み合わせて使用することができます。

機器同士の登録方法や使用方法は、接続先の機器により異なります。それぞれの機器と組み合わせた使用方法については、本製品のペアリング方法をご確認後、機器に付属の取扱説明書等をご確認ください。

1-3 各部の名称と機能

本製品の各部の名称と機能は、次のとおりです。

ヘッドフォン

1 イヤークリップ

この部分を左右の耳にかけて装着します。

2 電源／コールボタン

電源の ON/OFF と着信応答、終話の際に使用します。詳しくは「1-4 操作ボタンの機能について」をご参照ください。

3 受音部

音楽や携帯電話の音声が聞こえる部分です。

4 状態表示ランプ

本製品の状態（電源 ON ／ペアリング待ち受け）を表示します。

5 ラバーキャップ／充電コネクタ

このキャップ部分を取り外すと充電コネクタがあります。本製品を充電する際は、付属のUSB充電ケーブルの充電用プラグをこのコネクタに接続します。

6 リモートコントロールボタン

本製品の音量の調節、音楽再生時の再生、一時停止、曲送り（スキップ／リバース）（※）などを行います。詳しくは「1-4 操作ボタンの機能について」をご参照ください。

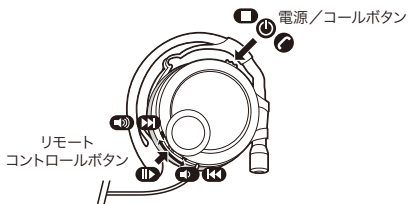
※ これらの音楽プレーヤー側の操作を制御するには、プレーヤー側がAVRCP（Audio Video Remote Control Profile）に対応している必要があります。

7 マイク

8 コード

この部分を持って持ち運んだり、引っ張らないでください。故障の原因となります。

1-4 操作ボタンの機能について

右側イヤーピースには、ヘッドフォンの設定をはじめとした各種操作を行うための機能ボタンが搭載されています。ここでは、各ボタンの機能についてご説明します。

機能		電源／ コールボタン	リモートコントロール ボタン	状態表示 ランプ
共通	電源 ON	約 4 秒間長押し	–	約 5 秒 間 隔で青色に点滅
	電源 OFF	約 5 秒間長押し	–	赤 色 に 3 回点滅後、消灯
	ペアリングモード	電源が ON の状態で、両方のボタンを同時に 2 秒以上長押しする		赤色と青色に交互に点滅
	ボリューム + ※1	–	ヘッドフォンを装着している状態で後ろ側にスライドさせるごとにレベルが上がる	–
	ボリューム - ※1	–	ヘッドフォンを装着している状態で前方側にスライドさせるごとにレベルが下がる	–
音楽 ※2	プレイ	–	1 回押す	–
	ポーズ	–	1 回押す	–
	ストップ	1 回押す	–	–

音楽 ※2	スキップ （次）	–	ヘッドフォンを装着している状態で後ろ側にスライドさせ約2 秒間ホールドすると次の曲へスキップする	–
	スキップ （前）	–	ヘッドフォンを装着している状態で前方側にスライドさせ約2 秒間ホールドすると曲の先頭へ戻る	–
通話 ※3	着信応答	1 回押す	–	青色
	終話	1 回押す	–	–
	着信拒否	–	着信時にボタンを 2 秒以上長押しする	–
バッテリ残量低下		状態表示ランプが赤く点滅し、約 60 秒ごとに警告音が鳴る		

※1　ボリューム調整は、音楽プレーヤーや携帯電話側の出力音声の調整でも可能です。音が割れて聞こえる場合や、音が小さすぎる場合などは、プレーヤー側の出力レベルも同時に調整してみてください。

※2　本機能は、音楽プレーヤー側が AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）機能に対応している必要があります。

※3　携帯電話でのハンズフリー通話には、携帯電話側が HSP（Head Set Profile）または、HFP（Hands-free Profile）をサポートしている必要があります。

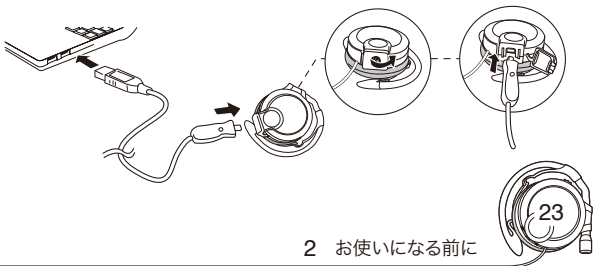
また、携帯電話によっては、通話後に Bluetooth 接続を自動的に解放しないものがあります。このタイプの携帯電話をご使用の場合は、ヘッドフォンの接続切り替えに失敗する場合があります。

2 お使いになる前に

充電を行う

本製品は、ご使用になる前にヘッドフォンを充電する必要があります。
充電には付属の USB 充電ケーブルを使用します。

2-1 充電方法

USB 充電ケーブルの USB コネクタをパソコンの USB ポートに接続し、ケーブルの先にある充電用プラグをヘッドフォンの充電コネクタに接続します。USB 充電ケーブルの充電状態表示ランプが赤色に点灯します。

※バッテリーは、空の状態から満充電になるまで 2 時間ほどかかります。

充電が完了すると、充電ランプが緑色に点灯します。

※ 1 回の充電で約 6 時間の連続再生が可能です。

ご注意

充電には、付属の USB 充電ケーブル以外を使用しないでください。

火災、感電防止のため、充電は水または湿気のない場所で行ってください。

充電中にケーブルを引き抜かないでください。状態表示ランプが正しく機能しなくなる可能性があります。

ポイント

ヘッドフォンのバッテリー残量が少なくなると、状態表示ランプが 60 秒に 1 度赤く点滅し、警告音が鳴ります。この状態になったら上記手順に従い、再度充電を行ってください。

3 ご使用方法

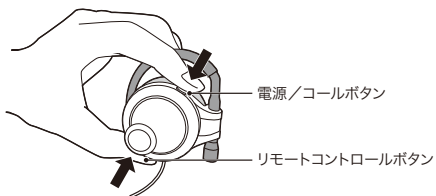
本製品は、Bluetooth のオーディオプロファイル（A2DP）やハンズフリープロファイル（HSP,HFP）を搭載している機器（または同プロファイルを搭載したトランスミッターを接続した機器）であれば、どんな機器とでもワイヤレスに通信を行うことが可能です。
また、2 台の機器とペアリングを行っておき、機能を切り替えて使用することも可能です。そのため、Bluetooth 対応の音楽プレーヤーで音楽を聞きながら Bluetooth 機能搭載の携帯電話で通話待ち受けをし、電話がかかってきたらハンズフリー通話に切り替え、通話後にまた音楽を聴くといった使い方が可能です。
そのほかにも、パソコンや PDA で音楽とボイスチャットを切り替えてお楽しみいただくなどの使い方ができます。

ここでは、通信先の機器とのペアリング（通信を行う機器同士で相互認証を行う作業）方法、機能の切り替え方法について説明します。各機器との具体的な使用方法については、使用する機器の取扱説明書等をご参照ください。

3-1 ペアリングについて

ペアリングとは、Bluetooth 機能搭載の機器同士が、お互いの機器を通信相手として認証し合う手順のことをいいます。
この手順を行わないと、通信相手の機器との間で信号の受け渡しを開始できないため通信ができません。必ずはじめにペアリングを行ってください。

3-2 ペアリング方法

Bluetooth 対応の機器とペアリングを行うには、本製品をペアリングモードにしておく必要があります。
この状態にするには、**本製品に電源が入っている状態**で本製品の「電源／コールボタン」と「リモートコントロールボタン」を同時に 2 秒間長押しします。
「状態表示ランプ」が青色と赤色に交互に点滅します。これでヘッドフォン側はペアリングモードとなります。
※ 本製品の電源は、「電源／コールボタン」を 4 秒以上長押しすることにより ON になります。

後は通信相手となる機器側で必要な設定を行います。
設定が終わり通信可能になると、本製品は青色の点滅状態に変わります。
一度ペアリングをすると、以後は電源を ON にするだけで、ペアリングをした機器と自動的に再接続します。

※ しばらく待って再接続されない場合は、再度ペアリングを行ってください。

ポイント　：ペアリング相手側機器の設定について

ペアリング方法は通信相手の機器により方法が異なります。詳しくはご使用の機器やソフトウェアに付属の取扱説明書をご参照ください。

ここでは一例として、一般的に使用される次の 2 つのパターンをご紹介します。

Bluetooth トランスミッターとペアリングする場合

Bluetooth 機能のない携帯電話や音楽プレーヤーからの音声を転送するために Bluetooth トランスミッター等を使用している場合は、Bluetooth トランスミッターをペアリングモードにし、本製品に近づけると、自動的にペアリングが完了します。

Blutooth 機能が付いている携帯電話や、パソコンなどとペアリングする場合

この場合は、携帯電話やパソコン側、PDA 等で Bluetooth の設定画面からペアリングモードになっている本製品を検索し、登録します。

パソコンや携帯電話側で Bluetooth ソフトウェア等から本製品を検索します。

本製品は「LBT-HP100C2」というデバイス名で検出されるので、これを選択し機器側で登録（認証）します。

登録（認証）時は「パスキー」（※）を入力するダイアログボックスが表示されるので、「0000」（数字のゼロを半角で 4 回）と入力します。

※「認証コード」「PIN」ボタンなどと表示される場合もあります。これはご使用になる機器により異なります。

※ 使用パターンは一般的な例ですので、通信先の機器によっては設定方法が異なる可能性もあります。機器側の取扱説明書もご参照のうえ設定を行ってください。

※ パソコンや PDA などと接続したとき、オーディオ出力先のデバイスが自動的に変更される場合があります。また、ご自分でオーディオ出力先のデバイスを変更しなければならない場合があります。詳しくは、パソコン、PDA 等で使用している Bluetooth ソフトウェアの取扱説明書などをご参照ください。

3-3 ヘッドフォンの装着方法について

本製品は長い時間の使用でも耳への負荷をかけすぎないようイヤーフック部分がデザインされています。下の図を参照し、ヘッドフォンを正しい方向で装着してご使用ください。

1 イヤークリップを開きます。

2 コードを首の後ろに回します。

3 ヘッドフォン本体とイヤークリップで耳を軽く挟みこむようにして装着します。

4 両側とも最適なポジションになるよう調整します。

3-4 ヘッドフォンのリセット機能について

予期しない接続などで、ヘッドフォンと機器との通信が正しく行われなくなってしまった場合は、本製品をいったんリセットして再度設定をし直すことができます。
手順については、以下をご参照ください。

1. 状態表示ランプを確認し、ヘッドフォンの電源が入っていることを確認します（電源が OFF の場合は「電源／コールボタン」を 4 秒以上長押しして、電源を ON にしてください）。

2. 付属の USB 充電ケーブルをパソコンに接続しないで、充電プラグをヘッドフォンの充電コネクタに接続します。

3. 充電プラグ、充電コネクタから引き抜きます。これでリセットが完了します。

この後は、接続したい機器と再度ペアリングを行ってください。

4 携帯電話とのご使用について

ヘッドフォンと携帯電話との接続について説明します。

4-1 使用可能な携帯電話の種類

本製品を使用可能な携帯電話は、次の 2 種類があります。

1 オーディオ・ハンズフリー通話の両方に対応した携帯電話
このタイプの携帯電話では、1 台でオーディオと通話両方をお楽しみいただけます。

2 ハンズフリー通話のみ可能な携帯電話
このタイプの携帯電話をご使用の場合は、本製品を使用してハンズフリー通話を行うことができます。

ご注意

携帯電話によっては特殊なプログラムを使用し、本製品では通話機能と音楽機能を使用できないものもあります。

本製品を使用可能かどうかにつきましては弊社ホームページをご参照になるか、またはご使用の携帯電話の製造メーカーへお問い合わせください。

参考

Bluetooth 機能を持たない場合でも市販の携帯電話用 Bluetooth トランスミッターを装着してハンズフリー通話が可能な場合もあります。

4-2 携帯電話での使用方法

ご使用の前に、本製品と携帯電話をペアリングしておいてください。
ペアリンク方法については「3-2 ペアリング方法」をご参照ください。

本製品は携帯電話から検索をすると「LBT-HP100C2」と表示されます。

認証コード（パスキー等）入力時は「0000」（数字のゼロを半角で4 回）と入力します。

ペアリング完了後は、次のように（次ページ以降参照）ご使用になれます。
※ ペアリング先の携帯電話により、再度設定が必要になる場合があります。

着信応答

着信があった場合、ヘッドフォンから 2 秒間に 2 回のビープ音が聞こえます。これは音楽再生中でも同じです。着メロ等、携帯電話側の設定音は反映されません。

ヘッドフォンの「電源／コールボタン」を 1 回押すと、携帯電話での通話に切り替わります。

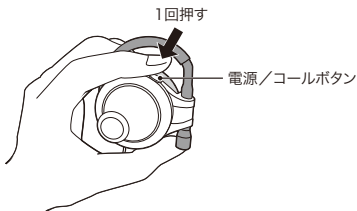
発信

発信の操作は携帯電話本体を使用します。発信後､ヘッドフォンにコール音が転送されます。

ポイント

ご使用の携帯電話の種類によっては「電源／コールボタン」に、ボスダイヤリング機能が割り当てられている場合もあります。詳しくは、ご使用の携帯電話の取扱説明書をご参照ください。

電話を切る（終話）

通話が終わったら、ヘッドフォン側の「電源／コールボタン」を押して電話を切ります。携帯型プレーヤーなどで音楽再生中に通話を行っていた場合は、音楽再生に戻ります。

ポイント

通話中は Bluetooth 接続のプロファイルが音楽再生（A2DP）から（HSP または HFP）へと切り替わり、終話後はまた音楽再生に戻ります。

プレーヤー側が AVRCP プロファイルに対応している場合は、通話中は音楽再生は一時停止の状態で待ち受けをし、通話終了後は元の場所から再生されます。

プレーヤー側が AVRCP プロファイルに対応していない場合は、通話中も音楽再生が進んでいるので、通話終了後は別の場所から音楽の再生が始まります。

電話に出たくない場合（着信拒否）

音楽再生中に着信があったときに、携帯電話に出たくない場合は、ヘッドフォンの「リモートコントロール」ボタンを 2 秒間押し続けます。ヘッドフォンからビープ音が 1 回聞こえれば着信を受けずに音楽再生が続きます。

ご注意

- 携帯電話が Bluetooth の HSP または HFP をサポートしていない場合は、ハンズフリー通話は行えません。
- 携帯電話の機種によっては、通話後に Bluetooth 接続を自動的に解放しないものがあります。このタイプの携帯電話と本製品を併用してご使用の場合、オーディオ再生への切り替えに失敗する場合があります。このような場合は、いったんすべて携帯電話とヘッドフォンの電源を OFF にした後に、ヘッドフォンの電源を入れなおしてみてください。
- 携帯電話の機種により、ヘッドフォンのボタンに異なる機能が割り当てられている場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご参照ください。
- ヘッドフォンと携帯電話の距離が離れすぎたり、間に金属の遮断物がある場合、通話が途切れたりノイズが発生する場合があります。

5 携帯型音楽プレーヤーとのご使用について

ご使用の携帯型音楽プレーヤーに市販の Bluetooth オーディオトランスミッターを接続して、本製品でワイヤレスに音楽をお楽しみいただけます。

オーディオトランスミッターには、AVRCP に対応しているものと非対応のものの 2 種類があります。

- AVRCP に対応した Bluetooth トランスミッターをご使用の場合、ヘッドフォン（本製品）側で再生、停止、スキップ、音量調整等の各種操作が可能です。
- オーディオトランスミッター側が AVRCP に対応していない場合、音楽の再生時にはヘッドフォン（本製品）側では音量調整が可能です。再生、停止、スキップ等の操作は音楽プレーヤー側で行ってください。

ご注意

AVRCP 非対応のオーディオトランスミッターをご使用の場合、ヘッドフォンの電源を OFF にすると音声は聞こえなくなりますが、音楽プレーヤー側は電源がついたまま、再生が続いています。この場合は、プレーヤー側で電源をお切りください。

ヘッドフォンとオーディオトランスミッターの距離が離れすぎたり、間に金属の遮断物がある場合、通話が途切れたりノイズが発生する場合があります。

6 パソコンおよび PDA での利用について

パソコンや PDA 本体に Bluetooth 通信機能が内蔵されている場合、または Bluetooth アダプタを接続して通信が可能な場合、本製品を使用してインターネットのボイスチャットやスカイプ通話、アプリケーションを使用しての音楽再生が可能です。
通信を行う際は、本製品をペアリングモードにしてからパソコンや PDA 側の Bluetooth 用ソフトウェアで本製品を登録し、OS 側から Bluetooth がデフォルトのデバイスとして設定されていることを確認してください（Windows 環境の場合は「コントロールパネル」から「サウンドとオーディオデバイス」を選択し、「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ウィンドウで確認できます。ここでデフォルトのデバイス名に「Bluetooth AV/HS Audio」「Bluetooth High Quality Audio」等と表示されていることをご確認ください）。

AVRCP 機能について

付属のヘッドフォンは Bluetooth の AVRCP 機能に対応していますが、Bluetooth 制御ソフトウェアや音楽再生ソフトウェアの組み合わせによっては、ソフトウェアの制御パラメータや機能の割り当てが異なり、再生・スキップ・一時停止などの操作をヘッドフォン側で行えない場合があります。

そのような場合、再生・スキップなどの操作は音楽再生ソフトウェア側で行ってください。

機能（プロファイル）の切り替えについて

ソフトウェア側の制御により、パソコンでの使用中は外部機器（携帯電話や音楽プレーヤー）への切り替えは行えません。

また、パソコンでチャット機能と音楽機能を切り替える場合、ソフトウェア側でプロファイルの切り替えを行う必要があります。

ご注意

- Bluetooth 機器と、パソコンや PDA とのペアリング方法はご使用のパソコンや PDA により異なります。詳しくはご使用の OS やソフトウェアのヘルプファイルまたは Bluetooth アダプタの取扱説明書をご参照ください。
- ソフトウェアがA2DPに対応していない場合、音楽の再生音はヘッドフォンで聞くことはできません。
- パソコンや PDA が複数の Bluetooth 機器と接続をしている場合は、音楽や通話音が途切れて聞こえる場合があります。本製品はこれらのパソコンや PDA と接続する場合、他の Bluetooth 対応機器との併用は想定しておりません。パソコンや PDA とは本製品だけを Bluetooth 接続してご使用ください。
- ヘッドフォンとパソコンや PDA との距離が離れすぎたり、間に金属の遮断物がある場合、通話が途切れたりノイズが発生する場合があります。

7 FAQ（よくある質問）

ここでは、お客様から寄せられるよくあるご質問とその答えについて記載します。

Q オーディオトランスミッターとペアリングができません。

A この場合以下のことをお試しください。

1. 複数機器とペアリング状態になっているときは、いったん他の機器とのペアリングを解除します。
   ヘッドフォンの電源を切り、再度電源を入れてからオーディオトランスミッターとペアリングを行ってみてください。
   電源を入れると他の機器と優先してペアリングを行ってしまう場合は、その機器の電源を切るか、その機器から離れた場所でオーディオトランスミッターとヘッドフォンのペアリングを行ってください。
   それでもだめな場合は、ヘッドフォンを初期化して、再度ペアリングをしてください。初期化方法については「3-4 ヘッドフォンのリセット機能について」をご参照ください。
2. ヘッドフォンやトランスミッター、音楽プレーヤーのバッテリー残量を確認して残量が少ない場合は、充電して再度お試しください。

③ ペアリングを行う際に、先にヘッドフォンをペアリングモードにし、その後にオーディオトランスミッターをペアリングモードにします。

Q ヘッドフォンの音質が悪いようなのですが?

A ご使用の Bluetooth トランスミッターの搭載プロファイルをご確認ください。HSP や HFP しか対応していない場合、オーディオ再生時の音声が劣化して伝わります。

Q 再生音の音質を改善させたいのですが?

A この場合、以下のことをお試しください。

① パソコンなどで使用している場合、複数の Bluetooth プロファイルを同時に使用していると使用帯域幅の制限を受け、音質が劣化します。
音楽再生以外の Bluetooth 機能を OFF にしてお試しください。

② まれに 2.4GHz 帯を使用している無線機器の近くで使用していると、電波干渉が起こる場合があります。機器同士の干渉を避けるため、同一周波数帯域を使用している機器とは距離を置いてご使用ください。

③ オーディオ機器と離れすぎている場合や金属製の遮蔽物がある場合、ワイヤレス転送が正常に行わ

れない場合があります。機器同士は適切な距離を保ち、中間に金属物質による遮蔽物を設けないようにしてください。

4 バッテリー残量が少ない場合等にノイズが発生することがあります。いったんヘッドフォンの電源を OFF にして再度電源を入れなおすと音質が改善される場合があります。また、バッテリーが少ない場合は充電をしてからご使用になることをお勧めします。

5 雑踏や交通量の多い所等では、複数の機器が本製品も使用している 2.4GHz 帯を使用し、結果として電波干渉が発生する場合があります。
このような場合はいったん本製品の使用を中止して、しばらく経ってから再度お試しください。

Q 通話終了後に、音楽再生（携帯型プレーヤーなど）に切り替わりません。

A ご使用の携帯電話によっては、通話機能（HSP/HFP）から音楽再生（A2DP）への切り替えに時間がかかる場合があるので、しばらく待って様子をみてください。また、ご使用の携帯電話によってはBluetooth 接続を自動的に解除しないものもあります。その場合は、いったん携帯電話とヘッドフォン（本製品）の電源を切り、先にヘッドフォンの電源を入れなおします。

Q 着メロが鳴りません。

A 本製品は着メロの転送には対応しておりません。
本製品への転送音は、ビープ音となり、着メロ等、携帯電話側の設定は反映されません。

Q Bluetooth マウスがうまく動きません。

A 複数の Bluetooth 機器を併用して使用すると使用帯域幅に制限を受け、このような症状が現れる場合があります。
使用する Bluetooth 機器を減らしてお試しください。

8 ハードウェア仕様

機種名		LBT-HP100C2※1
サウンド関連	周波数特性	20 Hz 〜 20KHz
	サンプリングレート	48KHz、16 ビット
	SPL（音圧レベル）	1KHz あたり 105dB
	THD（全高調波歪）	0.5%
	SN 比	85dB
Bluetooth関連	バージョン	Bluetooth v 1.2 準拠
	対応プロファイル	A2DP, AVRCP, HSP, HFP
	接続切り替え	1 携帯電話、1オーディオ機器※2
	オーディオ	SBC
電波関連	キャリア周波数	2.4 〜 2.483 GHz
	周波数拡散方式	FHSS（Frequency Hopping Spread Spectrum）
電波関連	変調方式	GFSK（Gaussian Frequency Shift Keying）

電波関連	電波到達範囲		Class 2　3m ～ 10m※3
環境条件 ※4	動作時	温度	0℃～ 40℃
		相対湿度	20%～ 80%
	保管時	温度	-10℃～ 50℃
		相対湿度	10%～ 90%
消費電力			222 mW
入力電圧			5V / 300 mA
動作時間			約 6 時間※5
外形寸法			44x37x20 mm ※6
質量			44g※7

※1　機種名の末尾にはカラーを表す記号が使用されています。
　　BK- ブラックモデル　SV- シルバーモデル

※2　いずれの場合も Bluetooth プロファイルに対応している必要があります。

※3　理論値。周囲の環境および接続機器により異なります。

※4　結露がないことが条件です。

※5　接続先の機器や周囲の環境、出力レベルなどにより異なります。

※6　片側、イヤークリップ、突起部を除きます。

※7　バッテリーを含みます。

本製品の仕様は予告なしに変更することがあります。

別売品・推奨品のご案内

弊社ではヘッドフォンで使用できる別買品として、以下の製品を取り扱っております。

オプション品はお買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショッププロジテックダイレクトにてお求めください。

ロジテックダイレクト Web サイトアドレス ：http://www.logitec-direct.jp/

別売品

- USB Bluetooth　アダプタ（パソコン用 USB）

型番	内容
LBT-UA200C1	Bluetooth 2.0 + EDR 対応 USB アダプタ

推奨品

- USB 充電器（推奨品）

弊社では、市販の電源コンセントを使用して充電する場合、以下の USB 充電器を推奨しております。 お求めはお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

エレコム株式会社

型番	内容
AVD-ACAU1BK	iPod　USB コネクタ用充電器（ブラック）
AVD-ACAU1WH	iPod　USB コネクタ用充電器（ホワイト）

上記製品は付属の USB 充電ケーブルを市販の電源コンセントに接続して使用するための USB 充電器です。

※ 弊社では上記製品に付き、十分な動作検証を行い、問題なく本ヘッドフォンの充電にも使用できることを確認しております。

9 お問い合わせについて

お問い合わせの前に…

1 本ユーザーズマニュアルを見て、接続の状態・注意事項をもう一度ご確認ください。接続先の機器により、特別な注意が必要な場合があります。

2 弊社 Web サイト（http://www.logitec.co.jp/）では、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

※ 問題が解決しない場合は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。FAX にてお問い合わせの際は、お客様のお名前、住所、電話番号、お問い合わせいただく製品名称、シリアル番号、故障の状態（なるべく詳しく）ご記入ください。

弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL　　：0570-022-022

FAX　　：0570-033-034

受付時間　：9：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　月曜日 ～ 金曜日

（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※ 携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX 共）、IP 電話（TEL、FAX 共）、ひかり（光）電話（TEL、FAX 共）はご利用になれません。

修理について

- 修理依頼品については、下記に記す弊社修理受付窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店にご相談ください。
- 保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。
- 保証期間終了後の修理につきましては、有料となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

修理品送付先

〒396-0192

長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社　修理サポートセンター（3 番受入窓口）

TEL　　：0265-74-1423

FAX　　：0265-74-1403

受付時間　：9：00 〜 12：00、13：00 〜 17：00　月曜日 〜 金曜日

（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

修理ご依頼時の確認事項

・お送りいただく際の送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。

・保証期間中の場合は、保証書を修理依頼品に添付してください。

・必ず、「お客様のご連絡先(ご住所 / 電話番号)」「故障の状態」を書面にて添付してください。

・保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、修理依頼品に添付してください。

・ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱(本製品の梱包箱、梱包材を推奨します)等に入れて、お送りください。

・弊社 Web サイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

・お送りいただく際の送付状控えは、大切に保管願います。

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録、修理依頼、製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上、アンケート調査等、これらの目的のために関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関や行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は細心の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

保証規定

■保証内容

製品添付のマニュアル、文書、説明ファイルの記載事項に従った正常なご使用状態で故障した場合には、本保証書に記載された内容に基づき、無償修理をいたします。保証対象は製品の本体部分のみとさせていただき、ソフトウェアなどの添付品は保証の対象とはなりません。なお、本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■保証適用外事項

保証期間内でも、以下の場合は有償修理となります。

1. 本保証書の提示をいただけない場合
2. 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句が書き換えられた場合
3. お買い上げ後の輸送、移動時の落下や衝撃等、お取り扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合
4. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、または異常電圧等による故障、損傷の場合
5. 接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が生じた場合
6. 弊社および弊社が指定するサービス機関以外で、修理、調整、改良された場合
7. マニュアル、文書、説明ファイルに記載の使用方法、およびご注意に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合

■免責事項

本製品の故障または使用によって生じた、お客様の保存データの消失、破損等について、保証するものではありません。直接および間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。